

山本哲士著

『国家と再認・誤認する私の日常』

国家を永久化させる心的根拠を問う！
国家配備の統治制を可能にする
幻想シニフィアンを明示。

ラカン精神分析理論の本格的な活用！

山本国家論3部作への本質的な補遺。

共同幻想シニフィアンが、国家資本・国家言説・国家認識、その国家アクトといかに「心的」に関連して統治制に配備されているかを、ラカン理論の中において読み解く。国家が永久化され、産業的諸制度が当然視され続けていく、その誤認・否認が日々の生活で「再認」され、諸個人は自分ではない「社会代行者」＝欲望主体として生存していく。他方、その根源に働いている日本文化の述語制様式を浮上させ、別様の自己技術の可能性条件を開削する。吉本思想とラカン理論を交叉させ、ブルデュー、フーコーにおいて考えられえていない閼を明証にする。

文化科学高等研究院出版局

ehesbook.com

2017年7月7日発売



270 ページ ペーパーバック版
210×134
定価 本体 2600 円+税
C0036

山本 哲士 (やまもと てつじ)

1948 年生まれ。東京都立大学大学院人文科学研究科、博士課程修了。教育学博士。政治社会学、ホスピタリティ環境設計学。元信州大学教授、元東京芸術大学客員教授。

企業環境、環境倫理・環境哲学など、社会環境、文化環境から〈場所 - 地球〉の経済/政治を近代学問体系を超えて総合的に設計・構築する超領域的研究。

1975 年、イバン・イリイチが主宰したメキシコの CIDOC へ遊学。1986 年より『季刊 iichiko』編集・研究ディレクター。1988 年「文化科学高等研究院 EHESC」を設立、2001 年「スイス・ジュネーブ国際学術財団 F・EHESC」として登記、ジェネラル・ディレクターをつとめ、現在にいたる。2013 年「Japan Hospitality Academy」を設立。著書・編著は 50 書以上、編集雑誌は 130 冊以上に及ぶ。『文化資本論』（新曜社）、『新版・ホスピタリティ原論』『哲学の政治 政治の哲学』（文化科学高等研究院出版局）。

『ピエール・ブルデューの世界』『吉本隆明の思想』（三交社）『ミシェル・フーコーの思考体系』『イバン・イリイチ』（EHESC 出版局）で思想家 4 部作を完成。国家論 3 部作、『吉本隆明と共同幻想論』（晶文社）『フーコー国家論』『ブルデュー国家論』を完成。

注文は J-R へ fax.03-3294-2177

文化科学高等研究院出版局 tel.03-3580-7784 fax.03-5730-6084

国家と再認・誤認する私の日常

山本哲士著

本体 2600 円

ISBN978-4-938710-22-4 C0036 ¥2600E

書店名

部数